



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社あじかん
コード番号 2907 URL <https://www.ahjikan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 足利 直純

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 森屋敷 登 TEL 082-277-7010

定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	50,240	5.9	1,710	—	2,266	386.1	1,509	463.5
2023年3月期	47,433	4.7	89	△84.1	466	△49.4	267	△57.8

(注) 包括利益 2024年3月期 1,809百万円 (356.0%) 2023年3月期 396百万円 (△51.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	198.38	—	10.1	8.6	3.4
2023年3月期	35.21	—	1.9	1.9	0.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 104百万円 2023年3月期 95百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	27,640	15,844	57.3	2,081.84
2023年3月期	25,102	14,157	56.4	1,860.14

(参考) 自己資本 2024年3月期 15,844百万円 2023年3月期 14,157百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,376	△1,100	△247	2,096
2023年3月期	959	△533	△179	2,030

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00	121	45.4	0.9
2024年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00	190	12.6	1.3
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00		15.9	

(注1) 2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 1円00銭

(注2) 2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 10円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	24,500	1.0	500	△14.1	500	△48.3	350	△46.8	45.99
通期	51,000	1.5	1,600	△6.4	1,700	△25.0	1,200	△20.5	157.67

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	7,700,000株	2023年3月期	7,700,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	89,053株	2023年3月期	89,053株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	7,610,947株	2023年3月期	7,610,947株

（参考）個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	49,066	5.7	1,635	－	2,229	420.0	1,497	453.5
2023年3月期	46,439	5.0	49	△89.8	428	△54.2	270	△59.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	196.76	－
2023年3月期	35.55	－

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	26,014	14,929	57.4	1,961.58
2023年3月期	23,501	13,353	56.8	1,754.50

（参考）自己資本 2024年3月期 14,929百万円 2023年3月期 13,353百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	24,000	1.3	490	△43.8	340	△41.7	44.67
通期	50,000	1.9	1,600	△28.2	1,150	△23.2	151.10

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(表示方法の変更)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行や行動制限等の解除により、社会経済活動が正常化に向かう中、停滞していた景気の緩やかな回復が期待される状況となりました。しかしながら、円安進行による物価上昇に加え、金融資本市場の変動、世界的な金融引き締め、中国経済の先行き懸念、ウクライナや中東地域をめぐる情勢など景気回復の下振れリスクも台頭しており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、資源価格の高騰や円安進行によって仕入価格や諸経費が軒並み上昇いたしました。また、前連結会計年度に発生した鳥インフルエンザの影響により、鶏卵が高値で推移したことや、供給制限が相次いだ結果、需要が大きく落ち込みました。足元では鶏卵価格が落ち着きを取り戻しつつあるものの、需要は完全には回復しておらず、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは『需要創造型食品メーカーへの挑戦』および『収益構造改革と経営品質の向上』をテーマとした第12次中期経営計画の最終年度をスタートさせ、第一に「収益構造改革への取り組み」、第二に「業務用食品事業の成長拡大」、第三に「ヘルスフード事業・海外事業の拡大および新規事業構想の立案」、第四に「経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを展開してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、業務用食品等において、経済社会活動の正常化に向けた動きによって、外食業態の需要が一段と回復したことに加え、スーパーマーケットやコンビニエンスストアを中心とした中食業態の売上が伸張したことなどにより、50,240百万円（前連結会計年度比5.9%増加）となり、前連結会計年度の実績を上回りました。

利益面につきましては、売上高の拡大効果や諸経費抑制に加え、退職給付費用が減少したことなどにより、営業利益は1,710百万円（前連結会計年度比1,820.9%増加）となりました。経常利益は、為替差益や長期為替予約評価益、持分法による投資利益の計上などにより2,266百万円（前連結会計年度比386.1%増加）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、減損損失や固定資産除却損の計上などにより1,509百万円（前連結会計年度比463.5%増加）となりました。

報告セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(業務用食品等)

販売面におきましては、供給制限に伴う玉子製品の販売抑制の影響もありましたが、玉子製品や海外調達品などの販売価格見直しを行ったことに加え、野菜加工品、調理済冷凍食品の需要が拡大したことや、繁忙期である盆・年末・節分の売上が大きく伸張したことなどが奏功し、国内売上高は前連結会計年度実績を上回る結果となりました。他方、海外輸出売上高につきましても、中国における水産加工品の輸入停止措置の影響はありましたが、販売価格見直しに加え、北米、オセアニア、香港、シンガポールを中心に需要が拡大し、前連結会計年度実績を上回る結果となりました。

生産面におきましては、生産効率の向上や、供給制限に合わせた加工費のコントロールなどにより、製造原価の抑制に努めましたが、供給制限による生産稼働率への影響や、主要原材料価格の高止まり、エネルギーコストの高騰などにより、製造原価は前連結会計年度に比べ上昇いたしました。

販売費につきましては、増収に伴う変動費の増加要因はありましたが、玉子製品の販売量減少や配送の効率化に伴う物流コストの減少に加え、その他経費執行の抑制などに努めた結果、前連結会計年度並みとなりました。

これらの結果、外部顧客への売上高は46,417百万円（前連結会計年度比7.0%増加）となり、セグメント利益（営業利益）は3,370百万円（前連結会計年度比250.6%増加）となりました。

(ヘルスフード)

販売面におきましては、通信販売は、衛星放送を中心としたテレビCMなどの広告宣伝効率が低下したことや、物価上昇による嗜好品の買い控えなど外部要因による影響もありました。他方、ドラッグストアなどでの市販品につきましては、「焙煎ごぼう茶キレイブレンド」、「焙煎ごぼうサプリ エラスチン+」など新製品の投入効果はあったものの、健康茶市場の需要に一服感がみられました。2023年9月に福岡市にカスタマーセンターを増設したことや、地上波のテレビCMやECモールへ積極的な広告宣伝活動を行ったことなどにより、足元では通信販売、市販品ともに回復基調にあるものの、売上高は前連結会計年度を下回る結果となりました。

開発面におきましては、焙煎ごぼうを主原料としたチョコレート風の食品素材「Me1Burd(メルバード)」を開発しました。複数のマスメディアにも取り上げられ、Me1Burdを用いたチョコレート風菓子「GOVOCE(ゴボーチェ)」をクラウドファンディングサイトにて先行販売した結果、目標額を大幅に達成するなど、大きな反響を得ました。

生産面におきましては、主要原材料であるごぼうが高値で推移したことや、エネルギーコストの高騰など増加要因もありましたが、生産高が減少したことに伴い、製造原価は減少いたしました。

販売費につきましては、積極的な広告宣伝活動を行ったことや、カスタマーセンターの増設に伴う諸経費の増加などもあり、前連結会計年度に比べ増加いたしました。

これらの結果、外部顧客への売上高は3,346百万円(前連結会計年度比4.3%減少)、セグメント利益(営業利益)は317百万円(前連結会計年度比49.9%減少)にとどまりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,537百万円増加し27,640百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,185百万円増加し14,816百万円となりました。主な増加要因は、売掛金の増加1,417百万円、商品及び製品の増加318百万円、原材料及び貯蔵品の増加235百万円、その他に含まれる為替予約の増加158百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ352百万円増加し12,823百万円となりました。これは、減価償却の進行を上回る取得による無形固定資産の増加に加え、投資その他の資産において、投資有価証券や退職給付に係る資産が増加したためです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ850百万円増加し11,796百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ829百万円増加し10,566百万円となりました。主な増減要因は、未払法人税等の増加629百万円、その他に含まれる未払消費税等の増加187百万円、未払金の増加151百万円、買掛金の減少182百万円などです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ21百万円増加し1,229百万円となりました。主な増減要因は、長期借入金の増加97百万円、リース債務の減少88百万円などです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,687百万円増加し15,844百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による増加1,509百万円、その他有価証券評価差額金の増加186百万円、為替換算調整勘定の増加98百万円、剰余金の配当による減少121百万円などです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9ポイント増加し57.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ65百万円増加し2,096百万円となりました。

営業活動の結果、得られた資金は1,376百万円（前連結会計年度比43.5%増加）となりました。これは、法人税等の支払86百万円や、売上債権・棚卸資産・仕入債務を合計した運転資金面での資金流出2,144百万円などもありましたが、減価償却費1,127百万円や、税金等調整前当期純利益の計上2,238百万円などが主な内容となっております。

投資活動の結果、使用した資金は1,100百万円（前連結会計年度比106.2%増加）となりました。これは、生産管理システムの再構築、生産設備の増強投資・メンテナンス投資などが主な内容となっております。

財務活動の結果、使用した資金は247百万円（前連結会計年度比37.9%増加）となりました。これは、リース債務の返済による支出131百万円、配当金の支払額120百万円などが主な内容となっております。

なお、借入金の期末残高は、前連結会計年度末より36百万円増加し5,308百万円となっております。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第56期 2020年3月期	第57期 2021年3月期	第58期 2022年3月期	第59期 2023年3月期	第60期 2024年3月期
自己資本比率 (%)	52.5	55.7	56.8	56.4	57.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	20.8	28.1	26.0	25.2	32.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	3.0	2.6	12.6	5.9	4.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	54.1	60.5	13.2	30.8	42.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

* 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

* 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

* キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、社会経済活動は正常化し、景気は回復基調にありますが、円安進行による物価上昇、ウクライナや中東地域をめぐる情勢など、景気回復の下振れリスクも台頭しており、依然として先行き不透明な状況は継続するものと思われま

す。食品業界におきましては、インバウンドや富裕層の消費行動活性化などにより外食業態の需要は回復基調にありますが、資源価格の高騰、円安の進行による仕入価格の高止まり、人件費や物流費をはじめとする諸経費の上昇を見込んでおります。また、物価上昇に伴う節約志向も顕在化しており、引き続き厳しい経営環境となることが予想されま

す。当社グループは、2030年3月期を着地点とする長期ビジョン“あじかんV30 ver.2.0”を策定し、「需要創造型食品メーカーへの挑戦」「収益構造改革と経営品質の向上」の実現に向け、第13次中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）の初年度をスタートさせます。なお、第13次中期経営計画の基本戦略は、「収益構造改革の完遂」、「業務用事業の質的成長と拡大」、「ヘルスフード事業、海外事業の成長拡大」、「ごぼう事業、市販事業の新たな価値の創造」、「経営品質の向上」としております。

以上にもとづき、次期の売上高は51,000百万円（当連結会計年度比1.5%増加）を見込んでおります。利益面におきましては、戦略展開に伴う諸経費の執行を予定しており、営業利益は1,600百万円（当連結会計年度比6.4%減少）、これに営業外損益を加えた経常利益は1,700百万円（当連結会計年度比25.0%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,200百万円（当連結会計年度比20.5%減少）をそれぞれ見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,110,994	2,176,519
受取手形	34,182	34,430
売掛金	5,757,008	7,174,528
商品及び製品	2,750,785	3,069,695
仕掛品	50,097	59,767
原材料及び貯蔵品	1,456,009	1,691,695
前渡金	9,794	10,646
前払費用	161,030	141,519
その他	319,375	479,096
貸倒引当金	△17,895	△20,916
流動資産合計	12,631,382	14,816,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,613,057	3,473,648
機械装置及び運搬具（純額）	1,768,561	1,744,988
工具、器具及び備品（純額）	347,205	392,119
土地	3,821,460	3,962,965
リース資産（純額）	291,534	211,888
建設仮勘定	170,652	76,151
有形固定資産合計	10,012,471	9,861,762
無形固定資産		
ソフトウェア	420,467	597,349
ソフトウェア仮勘定	134,905	104,975
リース資産	32,294	18,232
のれん	16,454	—
その他	3,356	3,509
無形固定資産合計	607,478	724,065
投資その他の資産		
投資有価証券	646,601	911,974
退職給付に係る資産	317,224	472,567
繰延税金資産	64,343	—
長期前払費用	1,879	738
その他	869,296	887,320
貸倒引当金	△47,757	△34,552
投資その他の資産合計	1,851,589	2,238,047
固定資産合計	12,471,539	12,823,876
資産合計	25,102,922	27,640,861

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,206,420	3,024,250
短期借入金	4,030,000	3,930,000
1年内返済予定の長期借入金	438,542	477,560
リース債務	125,417	113,299
未払金	827,384	979,240
未払法人税等	30,433	660,376
未払費用	464,393	590,060
賞与引当金	329,100	332,100
契約負債	87,463	62,353
その他	198,213	397,600
流動負債合計	9,737,367	10,566,842
固定負債		
長期借入金	803,650	901,090
長期未払金	96,531	60,672
リース債務	234,353	146,217
退職給付に係る負債	17,843	19,305
資産除去債務	54,076	54,213
繰延税金負債	190	46,265
その他	1,500	1,500
固定負債合計	1,208,144	1,229,263
負債合計	10,945,512	11,796,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	11,410,608	12,798,721
自己株式	△64,426	△64,426
株主資本合計	13,547,421	14,935,535
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	163,838	350,829
繰延ヘッジ損益	△10,847	3,073
為替換算調整勘定	456,996	555,316
その他の包括利益累計額合計	609,987	909,220
純資産合計	14,157,409	15,844,755
負債純資産合計	25,102,922	27,640,861

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高		
商品及び製品売上高	47,433,388	50,240,380
売上原価		
商品及び製品売上原価	36,836,863	37,673,878
売上総利益	10,596,524	12,566,501
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費	10,507,494	10,856,318
営業利益	89,029	1,710,183
営業外収益		
受取利息	11,964	5,113
受取配当金	18,173	19,669
保険配当金	1,009	10,739
受取手数料	2,093	1,956
長期為替予約評価益	—	138,790
持分法による投資利益	95,471	104,692
為替差益	347,750	301,249
保険戻戻金	8,000	—
その他	28,430	29,572
営業外収益合計	512,894	611,784
営業外費用		
支払利息	31,260	31,531
長期為替予約評価損	84,152	—
その他	20,253	23,744
営業外費用合計	135,666	55,276
経常利益	466,258	2,266,691
特別利益		
固定資産売却益	7,870	3,168
固定資産受贈益	300	—
投資有価証券売却益	10,696	—
子会社清算益	—	6,505
特別利益合計	18,866	9,674
特別損失		
固定資産除却損	7,884	7,755
減損損失	—	30,576
投資有価証券売却損	4,750	—
投資有価証券評価損	1,386	—
特別損失合計	14,021	38,332
税金等調整前当期純利益	471,103	2,238,032
法人税、住民税及び事業税	170,796	702,129
法人税等調整額	32,340	26,014
法人税等合計	203,136	728,144
当期純利益	267,967	1,509,888
親会社株主に帰属する当期純利益	267,967	1,509,888

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	267,967	1,509,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,640	186,990
繰延ヘッジ損益	△30,545	13,920
為替換算調整勘定	82,791	72,412
持分法適用会社に対する持分相当額	29,897	25,907
その他の包括利益合計	128,783	299,232
包括利益	396,751	1,809,120
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	396,751	1,809,120
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,102,250	1,098,990	11,256,805	△64,426	13,393,618
当期変動額					
剰余金の配当			△114,164		△114,164
親会社株主に帰属する当期純利益			267,967		267,967
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	153,802	—	153,802
当期末残高	1,102,250	1,098,990	11,410,608	△64,426	13,547,421

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	117,198	19,697	344,307	481,203	13,874,822
当期変動額					
剰余金の配当					△114,164
親会社株主に帰属する当期純利益					267,967
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	46,640	△30,545	112,688	128,783	128,783
当期変動額合計	46,640	△30,545	112,688	128,783	282,586
当期末残高	163,838	△10,847	456,996	609,987	14,157,409

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,102,250	1,098,990	11,410,608	△64,426	13,547,421
当期変動額					
剰余金の配当			△121,775		△121,775
親会社株主に帰属する当期純利益			1,509,888		1,509,888
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,388,113	—	1,388,113
当期末残高	1,102,250	1,098,990	12,798,721	△64,426	14,935,535

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	163,838	△10,847	456,996	609,987	14,157,409
当期変動額					
剰余金の配当					△121,775
親会社株主に帰属する当期純利益					1,509,888
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	186,990	13,920	98,320	299,232	299,232
当期変動額合計	186,990	13,920	98,320	299,232	1,687,345
当期末残高	350,829	3,073	555,316	909,220	15,844,755

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	471,103	2,238,032
減価償却費	1,062,564	1,127,568
減損損失	—	30,576
のれん償却額	16,454	16,454
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,700	3,000
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△38,247	—
契約負債の増減額 (△は減少)	△40,339	△25,110
長期未払金の増減額 (△は減少)	—	△35,858
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△25,271	△153,880
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△27,561	△10,183
持分法による投資損益 (△は益)	△95,471	△104,692
受取利息及び受取配当金	△30,138	△24,782
支払利息	31,260	31,531
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,946	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△7,870	△3,168
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,386	—
有形固定資産除却損	7,884	7,755
固定資産受贈益	△300	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△347,514	△1,415,073
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△278,300	△542,104
仕入債務の増減額 (△は減少)	430,233	△187,348
未収入金の増減額 (△は増加)	15,598	5,328
未払金の増減額 (△は減少)	△68,053	214,578
未払消費税等の増減額 (△は減少)	53,100	203,885
その他	148,776	86,349
小計	1,261,647	1,462,858
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△302,124	△86,356
営業活動によるキャッシュ・フロー	959,523	1,376,501
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△350	—
定期預金の払戻による収入	600	—
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
投資有価証券の売却による収入	36,717	—
有形固定資産の取得による支出	△523,488	△928,253
有形固定資産の売却による収入	23,883	3,168
無形固定資産の取得による支出	△176,035	△294,787
利息及び配当金の受取額	108,981	125,714
その他	5,851	△6,353
投資活動によるキャッシュ・フロー	△533,839	△1,100,511
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	△100,000
長期借入れによる収入	800,000	650,000
長期借入金の返済による支出	△698,860	△513,542
利息の支払額	△31,103	△32,132
リース債務の返済による支出	△133,375	△131,023
配当金の支払額	△116,241	△120,867
財務活動によるキャッシュ・フロー	△179,580	△247,565
現金及び現金同等物に係る換算差額	33,458	37,100
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	279,562	65,525
現金及び現金同等物の期首残高	1,751,431	2,030,994
現金及び現金同等物の期末残高	2,030,994	2,096,519

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表関係)

ソフトウェア仮勘定に係る表示方法の変更

前連結会計年度において、「無形固定資産」の「ソフトウェア」に含めていた「ソフトウェア仮勘定」は、重要性があると判断したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「無形固定資産」の「ソフトウェア」に表示していた555,373千円は、「ソフトウェア」420,467千円、「ソフトウェア仮勘定」134,905千円として組み替えております。

1年内返済予定の長期借入金に係る表示方法の変更

前連結会計年度において、「流動負債」の「短期借入金」に含めていた「1年内返済予定の長期借入金」は、表示上の明瞭性を高めるため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「短期借入金」に表示していた4,468,542千円は、「短期借入金」4,030,000千円、「1年内返済予定の長期借入金」438,542千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、業務用食品等及びヘルスフードを事業としており、主に国内販売を中心に事業活動を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、棚卸資産の評価基準を除き、連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項と概ね同一であります。

棚卸資産の評価については、収益性の低下に基づく簿価切下げ前の価額で評価しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	業務用 食品等	ヘルス フード	計				
売上高							
外部顧客への売上高	43,399,896	3,498,524	46,898,420	534,967	47,433,388	—	47,433,388
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	563,129	563,129	△563,129	—
計	43,399,896	3,498,524	46,898,420	1,098,097	47,996,518	△563,129	47,433,388
セグメント利益 又は損失 (△)	961,318	634,958	1,596,276	△4,119	1,592,157	△1,503,127	89,029
セグメント資産	17,216,443	1,537,347	18,753,790	867,856	19,621,646	5,481,275	25,102,922
その他の項目							
減価償却費	746,066	44,330	790,397	81,374	871,771	190,792	1,062,564
持分法適用会社への投 資額	371,224	—	371,224	—	371,224	—	371,224
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	590,504	8,919	599,424	68,412	667,837	232,391	900,228

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは運輸業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,503,127千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,454,729千円及び棚卸資産の調整額△48,397千円が含まれております。また、セグメント資産の調整額5,481,275千円、減価償却費の調整額190,792千円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額232,391千円の主な内容は全社資産であります。

3. 減価償却費及び有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用を含めております。

4. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	業務用 食品等	ヘルス フード	計				
売上高							
外部顧客への売上高	46,417,303	3,346,533	49,763,836	476,543	50,240,380	—	50,240,380
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	552,385	552,385	△552,385	—
計	46,417,303	3,346,533	49,763,836	1,028,928	50,792,765	△552,385	50,240,380
セグメント利益又は損失(△)	3,370,805	317,808	3,688,613	△19,982	3,668,631	△1,958,448	1,710,183
セグメント資産	19,186,150	1,515,555	20,701,706	784,630	21,486,337	6,154,523	27,640,861
その他の項目							
減価償却費	779,480	41,533	821,014	86,935	907,950	219,618	1,127,568
減損損失	30,576	—	30,576	—	30,576	—	30,576
持分法適用会社への投資額	396,783	—	396,783	—	396,783	—	396,783
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	950,023	20,273	970,297	42,618	1,012,915	116,785	1,129,700

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものは運輸業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,958,448千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,923,307千円及び棚卸資産の調整額△35,141千円が含まれております。また、セグメント資産の調整額6,154,523千円、減価償却費の調整額219,618千円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額116,785千円の内容は全社資産であります。
3. 減価償却費及び有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用を含めております。
4. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

単一外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	業務用食品等	ヘルスフード	その他	調整額	合計
減損損失	30,576	—	—	—	30,576

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	業務用食品等	ヘルスフード	その他	調整額（注）	合計
当期償却額	—	—	—	16,454	16,454
当期末残高	—	—	—	16,454	16,454

(注) 「調整額」の金額は、子会社である株式会社井口産交を取得した際に発生した金額であります。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	業務用食品等	ヘルスフード	その他	調整額（注）	合計
当期償却額	—	—	—	16,454	16,454
当期末残高	—	—	—	—	—

(注) 「調整額」の金額は、子会社である株式会社井口産交を取得した際に発生した金額であります。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,860円14銭	1株当たり純資産額	2,081円84銭
1株当たり当期純利益	35円21銭	1株当たり当期純利益	198円38銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	267,967	1,509,888
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	267,967	1,509,888
普通株式の期中平均株式数 (株)	7,610,947	7,610,947

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	14,157,409	15,844,755
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	14,157,409	15,844,755
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	7,610,947	7,610,947

(重要な後発事象)

該当事項はありません。